

改題 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 6月号 (NO86)

2017年6月10日 (土) 発行 (毎月10日)

【農暦】可成りの雨量でも表土の2-3cm下はサラサラに乾燥！

○天気が今一つ。暑いと思ったら寒い。半袖にしたばかりなのにまた長袖に、そんな日が続いている。激しい雨があるが雨量は少ない。オクラ、ピーマン、トマトなど植え込んだばかりの苗が瀕死の状態である。笠間不在時の天気によっては枯れてしまう。2拠点居住が恨まれる。カラカラに乾燥した土になっても草は平然と生育している。抜き取ると小さな土煙が上がり、大きな土の塊が剥がれる。根の張り方が違う。何度も経験していることだが草の強さを見せつけられる。元気なのが当然と思えてくる。夜中から午前中にかけて断続的に可成りの雨量があったのでジャガイモの収穫は無理かなと思っていた。掘って見たら表土の2-3cm位まで水を含んでいたが、その下はサラサラに乾燥していた。約半分を収穫した。植込みが遅かった割には上出来とまでは云えないが良かった。玉葱の収穫時を示す“葉が倒れて来た”ので抜き取りもした。上出来だった。マルチ補修、除草の成果と思っていたのだが、今年の玉葱は良作だったと聞くと、世間並だったのだと思った。

○菜園仲間へメールの追伸でこんなことを書いていた。“近況ですが、笠間へ行くと雨、柏に戻ると晴れになる。用事がある時には晴れになる。やる気を削がれる天候とのかかり合いになっています。草払して、しばらくして笠間へ行くと草が元に戻っている。少し気落ちします。こんな状況で先週は小降り雨の中、耕起をやり、里芋、落花生の植込みなどをしました。トマト、ピーマン、オクラなどの時も同じような雨模様の時でした。農を止めろと言われているような気力を試されているような気もします。土曜日は地元のクリーン作戦に参加した後、雨模様でしたが、下の畑の耕起をしようとしたのですがトラクターのエンジンがかからず、草払機もかからずで、止めて柏に戻りました。湿気が多かったからだと思った(*)。25日は雨でしたので久し振りにFさん宅を訪問したらスナックエンドウ豆の収穫と出荷作業をやっていました。雨でもやらなくてならないのですね。元気そうでした顔になっていました。長くなりましたので近況はこの位にします。(29日)”

○PS 今日にはハウスの篠竹などを刈り取りました。可なりひどくなっていました。先日、



<小さい庭①>いろいろ緑が頑張っている。紫陽花は花が少ない(右下)。6日撮影

このままだと気力も削がれると思い、やることにしました。草の刈り込みのタイミングの頻度を上げないとまずいと思っています。しかし体力と気力のレベルを考え、無理はしないと云うより出来ないような気もします。余計なことを書きました。これは駄目だと思われないための言い訳です。(8日)”とあった。改めて読んで見ると、不快のメールでしかないと心配になる。これからどうするかだけである。気力体力を整え農を楽しむ事に心配りするだけいい。残りのジャガイモの収穫、除草に努めたいと思っている。

*快晴時、問題なくエンジン始動した。

【楽農】玉葱、ジャガイモの収穫！

<畑A> ; トマト、オクラ、ピーマン、生姜などの植込み

玉葱、ジャガイモの収穫。草払い機で除草。

<ハウス> ; トマト、キュウリの植込み、

<畑B> ; トラクター耕起、里芋植込み



<玉葱>一部を吊り下げ乾燥。

8日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○イベントなど ; 男女共同参画総会と講演会(20日) ごみを考える会例会(25日) クリーン作戦・里親制度(27日) TBG大会(31日) 共生つばさの会(1日) 川柳の会(1日) 魅力発信隊例会(1日)に参加など。

○その他 ; ガルデン時の仲間が来訪(17-18日) 酒を飲みながら近況を語り合った。語り部の公演をする元会社の友人のエスコート(18日)。

*農はと云れそうだが“友遠方より、、”で良いと思っている。



<語り部の公演>18日撮影

【つぶやき=Tweet】川柳「村度で道理無くなるご政道」詠む

○ つい先日のことであるが、NHKの録画をDVDにしようとしたが出来ない。少し若い友人にサポートをお願いした。PCの環境が明確でなく、やって頂くことになったのでサポートでなく依頼になってしまった。笠間でPCのネット環境をつくりたいとガラケイからスマホに換える時も別の少し若い友人にサポートして頂いた。一昔か二昔前になるがエッセイストの嵐山光三郎さんがIT拒否シアナログ人間宣言のようなものをした。何か、すがすがしいものを感じたことを思いだした。コンピュータとの付き合いは元会社に入社以来なので相当長い。コンピュータ言語こと、ソフトとハードの二重化、機械化の入力軽減など多くの議論と努力をしたことが懐かしく思い出される。機械化反対もあった。これらの論議を一掃したのがビル・ゲイツでWindowsのリリースで一変した。

○私はここを起点にしてのコンピュータとの関わる時間の差がIT社会との親和性?の差になると思っている。少し若い友人と書いたのは若い人ほどITとの馴染みが深いと思っ

ている。今の子供たちはコンピュータの仕組みなど知らなくても使いこなせている。私より若い層なら誰でもという訳ではない。それなりの努力が必要であったと思うが、ただ言えることは、私より齢が上か下かで大きな差がある。嵐山光三郎さんは少し年上である。私のことでは、生意気にも IT 弱者の役に立ちたいと「シニヤ情報生活アドバイザー」の資格を取ったりしたのだが、前述の通りの有様である。今どうされているかわからないが嵐山さんの選択が正しかったと思えてくる。IT 社会化の流れに抗することは出来ないが、無理して疲れるより、アナログ文化に拘る事で IT にはない素晴らしさが見えてくる。一例だが、新聞、本などはやはり紙がいい。電子媒体には代え難いものがある。

○「付度（そんたく）で道理無くなるご政道」これは私が詠んだ川柳で投句したものである。付度なる漢字も言葉も知らなかった。使う必要もなかった。森友学園、加計学園問題から付度は誰もが知る言葉になった。政権も関わる報道で、安保法、共謀法案、森友学園、加計学園などについてマスコミの扱いには微妙なものを感じるようになってきている。政権を意識したような微妙な発言や雰囲気を感じるのは私だけではないと思う。マスコミが政権チェック機能を失うと、民主主義が破壊されるというのが怖い。政権がマスコミをチェックしているのではないかと気がかりである。



＜小さな庭②＞自然態は好きだが畑ではバツ。6日撮影

○政治評論家・大学教授、一部のジャーナリスト？と言われる人達のネット上の発言には怖いものを感じる。鳥肌が立つ。日本会議という組織があると聞くが、戦前の大政翼賛会的なものではないと信じたいし、そうあって欲しくない。問えば否と云うだろうが、今の政治状況を見ると怖くなる。共謀法案が国会審議されているが、国連の方から『共謀罪は広範な適用範囲によって、プライバシーと表現の自由の制限につながる可能性がある』と懸念されると安倍総理に書簡を送っていたという。政権批判的なことを云うのが怖くなる。前川・前事務次官は、これ以上はとの思いで、覚悟を決めての告発だと思う。自由な発言が窮屈になって来ていることを非常に感じる。安倍一強政治が怖い。ご政道を正す与党の政治家が出ないのが寂しい。派閥が機能していた自民党時代が懐かしくよく見えてくる。

○今度は「パリ協定離脱宣言」をトランプ大統領がする。悪い異端、道理が通らない政治に、もの言えぬ国民になってしまったら大変である。戦前に戻ってしまう。何となく落ち着いた気分になれない。”なるようにしかならない“との一休禅師の教えである。諦めではない、この言葉に最近すがっている。

【後記】緑に囲まれた、自然が豊かな、笠間に。kogure 農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；kogure 農場・小暮虎雄
住所；笠間市本戸4201-10
携帯電話；090-9333-4135
メール；torao-k@nifty.com
HP；<http://ayaharu.my.coocan.jp>